第１回　COLS考古学フォーラム ＆
長野県県考古学会　藤森賞第５０回記念フォーラム（共同開催）

講師：
勅使河原 彰

植物考古学と先史考古学の役割

──藤森栄一の縄文農耕論を題材に──

植物考古学など自然科学的分析手法が活況を呈している。
しかし、それで縄文時代の理解は深まっているのだろうか。
藤森栄一の縄文農耕論を題材として、**先史考古学**の役割を考える。

講師紹介

勅使河原 彰

明治大学考古学専攻卒
文化財保存全国協議会常任委員
「第２回尖石縄文文化賞」「第13回藤森栄一賞」「第25回和島誠一賞」受賞。
著書　『縄文時代を知るための１１０問題』『縄文時代史』『シリーズ遺跡を学ぶ 別冊03　ビジュアル版 縄文時代ガイドブック』『シリーズ遺跡を学ぶ004　原始集落を掘る 尖石遺跡』（新泉社）ほか多数

2026.4.19 SUN 14:00-15:30

◎日　時 ──── ４月１９日（日）　14:00～15:30
◎場　所 ──── 明治大学グローバルフロント　4021教室
◎お申込不要　＊教室定員１００名先着

■主催
明治大学黒耀石研究センター
長野県考古学会

会場はこちら

お問い合わせ
Tel: 03-3296-4424 ※火曜日・金曜日のみ
Email: meiji.cols@gmail.com